第1章 今年度業務の目的と基本方針

1) これまでの取組と今年度業務の背景

宜野湾市は、普天間飛行場の跡地利用に向けた関係地権者等関係者の合意形成の円滑化を図るため、平成13年度に「普天間飛行場関係地権者等意向把握全体計画」を策定した。

平成14年度以降は同計画に基づき、地権者懇談会や情報誌の定着化、地権者のまちづくり検討組織である「普天間飛行場の跡地を考える若手の会（以下 若手の会）」及び市民によるまちづくり検討組織「ねたてのまちベースミーティング（以下 NB ミーティング）」の組織化が図られた。

平成21年度は、「若手の会」の自立化に向けた活動体制づくりとさらなる地主会との連携強化（意見交換の場の創出、合同での提言書作成）が図られ、「NB ミーティング」については、市民の合意形成に関わる今後の中心的役割を担う組織化等が図られてきた。

しかし、長期に渡る取り組みを実施する上で、市民並びに地権者の跡地利用への関心を維持するという課題については、これまでの取り組みの充実を図りつつ、新たな取り組みを検討する必要がある。

平成25年度以降は、事業の具体化に向け、平成24年度に策定された「全体計画の中間取りまとめ」の内容を正確かつわかりやすく周知する段階に来ており、各種団体、大学等地域全体の連携のもと、協働して取り組みを行っていくことが必要である。

2) 今年度業務の目的

今年度業務においては、これまでの取組を踏まえ、以下のような2つの目的に基づき実施する。

①市民並びに地権者への「全体計画の中間取りまとめ」に関する正確かつわかり

やすい情報提供や意向把握

- a) 普及啓発用絵本の作成
- b) 普及啓発用V P(ビデオパッケージ)の制作
- c) 紙芝居の制作と公演
- d) 「お笑い普天間劇場」の公演
- e) まちづくり市民講座等の実施
- f) 大山田芋畑の市民視察会の実施

②合意形成の中核組織である「若手の会」並びに「NB ミーティング」の活動支援

- a) 若手の会の活動支援
- b) NB ミーティングの活動支援
- c) 先進地視察会の実施